



▲30歳代から最高齢83歳までの約350人が参加した東日本大震災チャリティー・ダンスパーティー。音楽に乗って生き生きと踊ります。4月29日(祝)／市民体育館 (撮影：市民カメラマン・塩野好文)

みんなのひろば



▲今年も見事なばたんの花が咲いた多聞院の「寅まつり」。本堂では無病息災・五穀豊穡などを祈願して護摩がたかれました。5月1日(日)／多聞院 (撮影：市民カメラマン・中村 仁)



▲市内11会場で男子・女子の部合計90チームが熱戦を繰り広げた「市民体力つくりソフトボール大会」。バットが風を切り裂き白球を捕らえます。5月8日(日)／北中運動場 (撮影：市民カメラマン・佐藤清一郎)



▲所沢から元気を発信しようと開催された「第17回とことこタワーまつり」。コンセールタワー前では、力強い空手の演舞が披露されました。

5月8日(日)／元町コミュニティ広場ほか (撮影：市民カメラマン・池田敏明)

おうちで食べよう! 所沢の学校給食

栄養士さんが考えた学校給食のメニューの中から、所沢産の食材を取り入れたものや、特色あるレシピを紹介します。

◆今回の献立
ライスボールパン、牛乳
鶏肉のひばり揚げ
(パン粉に麦を混ぜています)
★ピンクポテトサラダ
所沢育ちのかき玉スープ
人参ゼリー



★ピンクポテトサラダ

材料(4人分)
じゃがいも……………2個
(ノーザンルビー1個、男爵またはメークイン1個)
むき枝豆……………大さじ3
ホールコーン(缶) ……大さじ1
すりおろしんにく ……小さじ1/2
サラダ油……………大さじ2
酢……………大さじ1
砂糖……………小さじ1/2
塩……………小さじ1/4
こしょう……………少々
せん茶(粉茶) ……少々
作り方
①①の調味料を混ぜ合わせて、ドレッシングを作ります。
②じゃがいもは、1.5cm角に切り、蒸します。
③じゃがいもは、電子レンジにかけると簡単に蒸せます。
④枝豆は、ゆでてさやから出しておきます。
⑤②、③、④を混ぜ合わせて、①のドレッシングであえます。
最後にせん茶を振りかけるときれいです。

ここがポイント ~開拓の精神を現代に~

柳瀬地区では、じゃがいもの新品種「ノーザンルビー」(赤皮・肉質も赤紫色)を栽培しており、学校給食でも、子どもたちに好評です。生産者のひとり吉田昌男さんはさつまいもの「川越いも」を江戸時代に広め、飢饉から多くの人々を救った「吉田弥右衛門」の子孫でもあり、さつまいもによく似たこのじゃがいもを広めようと、地産地消活動に情熱を燃やしています。

問い合わせ 保健給食課 ☎2998-9249 ☎2998-9167

はっぴー野老っ子

♪「愛しいあなたを想うだけで、涙が溢れてしまうの」こんな気持ちになったこと、女性なら一度はあるのではないのでしょうか?今回は、そんな乙女心をやさしいメロディーに乗せて歌っている、歌手の間瀬しずかさんをご紹介します。
間瀬さんは、若者文化を育み、所沢市を活性化させることを目的に所沢商工会議所青年部が平成18年から開始した『若手ミュージシャン発掘支援プロジェクト』の第3弾アーティストとして昨年4月から活動しています。そもそも間瀬さんを歌手へと導いたのが、同プロジェクトの第1弾アーティストでもあるJULIE'S。「高校3年生のときにとくろざわまつりで聞いた彼らのすばらしいハーモニーに心を動かされ、私も歌で感動を与えたいと強く思いました」。その後、いったんは大学に進学するも1年で中退し、夢への第1歩を踏み出します。「後悔のないように、今しかできないことをやりなさいと背中を押してくれた両親に感謝しています」。そして間瀬さんの美しく伸びやかな歌声が目にとまり、支援アーティストに選ばれたのです。
支援アーティストに決まったら、市内のイベントにひっぱりだこ。特に印象に残っているのは、昨夏のひまわり畑でのステージで、



無二の親友
たぐさいる友人のなかで、一番の親友は故郷の信州に住んでいます。五十年という長い付き合いが続いているのですが、遠く離れていてもお互いに相手の気持ちを理解し合っているから長続きののだと思います。季節の変わり目には信州の香りがいっばい話まった贈り物が届きます。どれも心にもこもったコメントが書かれています。思いやりが伝わってきます。私も時々手作りの品を送るのですが、それを何より喜んでくれます。
無二の親友と呼べる彼女と、これからは変わらぬ友情を続けていけることを願っています。



あふれる恋心をメロディーに乗せて

「皆さんが愛情を込めて育てたひまわりの中で歌うのは、いつも以上に気持ちがよいものでした」と、地元で活動してきたこの1年を振り返ります。
小学校3年生から所沢育ち。高校3年生までバスケットをするなど活発な子どもだった間瀬さんも、現在は22歳。「等身大の女性の恋する気持ちを歌うことが多いので、同世代の女性に共感してもらえたり、勇気を与えることができたうれしい」と歌に込める想いを語ります。
「今ではいろいろな場所で歌わせていただくようになりましたが、私の原点は所沢。応援してくださる皆さんのあたたかさにもいつも元気づけられています。今年2月にはワルツホール所沢でファーストコンサートを成功させました。「次は所沢が誇る音楽ホール・市民文化センター・ミュージズでコンサートをすること、そしていつの日にか紅白に出場することが夢です!」と瞳を輝かせます。
まぶしいほどにキラキラした笑顔が印象的な間瀬さん。所沢から大きくはばたこうとしている歌姫をみんなで応援していきましょう!



▲市内のステージで歌う間瀬さん

誰でもエッセイ
テーマ「友」
あこがれの友
彼女とは高校一年生のときにクラスメイトとして出会った。背が高くほっそりとしていて、教壇でテレビのものまねをする姿は注目の的だった。そんな彼女がある日「親友になつて」と言った。うれいというより「何で私なんか」という気持ちで不思議な気がした。
それ以来、何十年と近くに住み、互いに二人ずつ男の子を持つ母親としてとても良い関係を続けてきた。中年になり、いろいろ不安材料も増えてきた。そういうときいつでも何時間でも話し合える仲間。
だ。彼女は相手が傷つくことは決して言わない。友人関係が長く続けば、そんなところにもあるのかもしれない。
北秋津 清水 明子



とくろざわ 歴史まめ知識

所沢市域にかかわる歴史的事項を50音順に紹介しています。今号は「し」です。
勝楽寺 前号「さ」の回でも触れたように、狭山湖(山口貯水池)の湖底に沈んだ村として知られています。奈良時代の創建と伝える「勝楽寺仏蔵院」から取られた村の名は、明治35年に山口村、上山口村と合併して新生「山口村」の一部となるまで続きました。狭山丘陵の谷の一番奥に位置し、水に恵まれて古くから人が住み、農業だけでなく織物の生産などで大いに栄えました。現在、上山口の高橋交差点から西に向かい狭山湖の堤に突きあたる道は、村の中央に位置していた仏蔵院の前を通り、物資の集散地である五日市や八王子と所沢を結んでいた街道の名残です。貯水池建設後の仏蔵院は、下山口駅に程近い場所へ移転しています。
神明社 伊勢神宮と同じ天照大神を主祭神とする神社で、市域では宮本町(旧所沢町鎮守)、大字中富(旧富岡村鎮守)、大字牛沼(旧牛沼村鎮守)の3か所に鎮座します。宮本町の神明社は、江戸開府以前の弘治2年(1556)に勧請されたという伝承を持ち、牛沼と中富の神明社は江戸時代の創建です。牛沼の神明社は宮本町の神明社を分霊したものとされています。
将軍塚・白旗塚 鎌倉幕府を滅ぼした新田義貞ゆかりの場所と伝えます。将軍塚は八国山(松が丘一丁目)の頂に築かれた小さな塚で、義貞が床几(腰掛の一種)を据えた所であると、また埋蔵文化財調査センター(北野二丁目)裏に位置する白旗塚は、義貞が源氏の象徴の白い旗(降伏の意味ではありません)を立てた場所と言われています。ただ、これらの塚がもともと何のために築かれたかは、現在もはっきりわかっていません。



▲旧勝楽寺村の風景(昭和初期)

問い合わせ 生涯学習推進センターふるさと研究グループ ☎2991-0308 ☎2991-0309